

浅茅野 CS 通信 **きずな**

学校と保護者と地域でつくるお便り 第8号 浅茅野小コミュニティスクール
浅茅野小 CS 事務局 TEL5-7312 FAX5-7317 令和3年3月25日(木)

地域の人に学ぶ未来の姿

猿払村立浅茅野小学校長 荒谷 卓朗

1 未来の自分づくり方程式は? 「キャリア」×「ペップ」=自己肯定感の向上

3/16(火)、大武 夏樹さん(CS 委員)・小原佐満利さん(酪農塾)をゲストにお招きして、卒業後のキャリアについての考える授業を行いました。卒業生は中学進学にむけて前向きな自分のあり方を見つけることができましたようです。授業の一部をお伝えします。

(1) 卒業プロジェクトにタイトルをつけたら?

「自分のがんばり」「努力」「かくされた力」を発見したという反応が返ってきました。

(2) 「未来にむけて」(アニメ映画) どんなお話し?

大人と一緒に「人生よかったカルタ」で交流し、「中学生が避難した話」の背景について考えました。もし自分が住んでいたら「釜石の奇跡」と呼ばれることについてどう思うか?

アニメ映画
「未来に向けて」

どんな作品?

テーマ「中学生が自ら避難した話」

☆謎解きキーワード☆

み ら こ か し
う の す ま い

鵜住居

釜石



(3) 陽転思考で描く将来設計

中学生の言葉「みんなのおかげで助かった」に共感。

未来の姿(目標)⇒「努力の人」・「親孝行」・「のんびりスローライフ」をめざす!

(4) 頼れる先輩の経験談を聴く ※GT~ゲストティーチャー

~不安や心配事は?…「勉強とか人間関係うまくいかな」

ゲストに質問…「仕事がうまくいようにするには?」GT①…何度も言葉に出して言うことが大切
…「仕事を選んだ理由は?」GT②…はじめからやろうと考えていたわけじゃなくて…

(5) 過去・未来を描くワーク

~うれしかったこと・がんばったことは?
・感謝を伝えたい人は?どんな言葉で?

(6) 未来から今の自分へ勇気づけ

…「ちゃんと勉強したほうがいいよ」「大丈夫」
「いろんなことに挑戦しよう」

ラベンダーポプリへのお礼メッセージ

「あったかい心に感動!」(浅茅野 近藤正浩さんから)

《自分を励ます337、575ペップ》

「今よりも 高みを めざしましょ」
「大丈夫 大丈夫 自分のペース」
「やれる やれる 何でもできる」

「明日より 強くなれる OOO(氏名)」
「あきらめず やればぜったい できるんだ」
「がんばって 何でもやるぞ いつまでも」

《振り返り》「どんな未来でも前向きに行きたい。」「自分達が当たり前と思っている事は、実は当たり前ではない事がわかった。」「未来と過去に行って話したことがとても印象に残りました。なぜなら昔の自分はこうだったなと思い返すことができたからです。」



卒業生へメッセージ

ラベンダーポプリ
感動しました!

浅茅野小学校
近藤 正浩さん

これから
あったかい心で
中学校で
がんばってほしい



2 浅茅野の森を楽しむ冬～クロスカントリースキー&スノーモービルツアー～

平成26年にスタートしたクロスカントリースキー。冬休み中と土日の天気の良い日にコースを開放。卒業生も含め子どもたちが元気にグラウンド・森コースでクロカンを楽しみました。その速さに驚いていると、「小学校のとき鍛えられましたからね。」との話が…。



また、保護者の方と一緒にスノーモービルでコースを回った折、昔の様子をお伺いすることができました。「昔、ここがスキー場でした。みんなでスキーをしていましたよ。」(王子の森管理事務所がある神社の裏側が開けた斜面になっていました。)地域の良さを発見するガイドツアーみたいで面白いなと思いました。

このように地域の皆さんの生きた情報は本当に貴重です。現在、スノーモービルは教育委員会を通して借用、職員が授業の合間や放課後の時間帯を使ってコース整備をしています。従来使っていた林道コースは、木が横たわり通れない状況になっていることもわかりました。少し枝を払えばコースも広くなります。資源回収の折りなど複数人でコース整備をすることもできればよいなと考えております。また、その年の雪の状況にもよりますが、コース整備のお手伝いいただくと助かるなと感じています。子どもたちのために大人も一緒に楽しめる環境づくりを皆様のご意見を伺いながら進めていきたいと思っております。今後ともご支援・ご協力の程よろしくお願ひいたします。

今できること これから先やれること

卒業生の声 「浅茅野の森」の思い出

3 感謝の言葉の贈り物～未来へつなぐペップトーク～

ペップカルタ(親守歌編)が完成しました。親子・地域の絆づくりのツールとして様々な場面で活用を考えています。また、『勇気づける言葉(337、575ペップ)を在校生に贈りたい』との卒業生の願いを校内掲示しました。彼らが残した言葉は受け継がれます。修了式で5年生の1人が「ネガティブな言葉は言わず前向きに努力していきたい」という決意表明をしました。今後も自己肯定感(私にはいいところがある)・自己有用感(私は必要とされている)・自己効力感(私にはできることがある)が高まる取組を地域の皆さんと一緒に創りだす未来の姿を描いています。(1月中教審答申「令和の日本型教育」には姿という言葉が示されています。)



【12月お題の答え】→親守詩の応募作品の中で一番多く使われた言葉は何でしょうか。

1位 ありがとう(15作品) 2位 お父さん・お母さん(各7作品)

世の中で一番美しいペップトークは、「有り難い」という意味で「ありがとう」です。では、反対の言葉は何でしょうか?それは、「当たり前」です。普段の生活は当たり前ではなく、人々が温かい心で支え合った姿なのだと実感します。「有り難い」を心に刻みます。

[編集後記]皆様方の声をお寄せいただきありがとうございました。次年度はホームページ上で紙面公開を予定しています。引き続きご愛顧いただければ幸いです。